

解説

Rooster SE220 用ファームウェアです。

変更履歴**2026/3/5 v2.2.0.6****【機能追加】**

- ・[パケットログ] パケットログ機能(IPFilter ログ)を追加
フィルターが適用された際のパケットの情報についてログとして記録できるようになりました。
※ 記録できる通過ログ・遮断ログはそれぞれ 512KByte 迄となります。
設定によってはシステムに負荷がかかったり、FlashROM 領域の早期劣化につながる為、評価時と運用時で設定を分けるなどログの発生頻度を見ながら調整を行うようにしてください。
- ・[SYSTEM] 通信モジュールの状態(接続状態等)について定期的又は、状態変化時にシステムログに記録する機能を追加
- ・[SYSTEM] 印加されている電圧値・CPU 周辺の温度、DNS リレー機能関連の状態について定期的にシステムログに記録する機能を追加
※ 定期的なログは 10 分間に 1 回システムログに記録されます。
又、状態変化時（網への接続が拒否された場合や接続している CELL が変化した場合等）についてもシステムログに情報が記録されます。

【機能改善・変更・調整】

- ・[SYSTEM] 内部ログ記録プロセスの起動より早く実行されている処理のログの一部について処理結果がシステムログに残るよう改善
- ・[SYSTEM] 一部の機能についてシステムログに出力されるログの内容を調整
- ・[LAN インタフェース] LAN インタフェースが UP,DOWN したタイミングでユーザーログにログが記録されるよう改善
- ・[IPsec] イニシエータとして動作している際にレスポンドから「No proposal chosen」等正当な理由で接続を拒否された場合等でイニシエータの再接続動作が止まる仕様について、どんなシチュエーションでも接続が完全に切れていると判断した場合に再接続に行くように変更
- ・[PPTP] 固定の IP アドレスを付与したユーザーに複数のクライアントから接続した場合に、どちらのクライアントも「接続済み」となっていた動作を、後から接続されたユーザーを優先し、先に接続していたユーザーは切断するよう変更

【不具合対応】

・[WEB/CLI] ユーザー名変更機能について、制限内の文字列を設定した場合でも内部でエラーとなり CLI にログインできなくなる場合がある問題を修正

問題の発生条件：

- ①先頭文字に「.」を使用したユーザー名を設定する
- ②25文字～32文字のユーザー名を設定する

問題の対処方法：

①ユーザー名の先頭に「.」がついている場合はアップデート後、変更された入力規則に従ってユーザー名を変更頂く事で CLI にログインができるようになります。

先頭の文字に「.」は使用頂けません。

②25文字～32文字のユーザー名を設定頂いている場合、本 Version にアップデート後、問題は自動的に解決されます。

・[CLI] show edit-config, show startup-config について、「TAB」による補完、「?」によるヘルプ出力時の候補に「sms」が出てこない問題を修正

・[IPSec/WEB/CLI] IPSec 接続済みの状態にも関わらず WEB・CLI 上の接続状態が「エラー」と表示される問題を修正

※ IKEv1 使用時、ライフタイム設定が短めに設定されている場合や、IKEv2 使用時、REKEY 時に「エラー」と表示されていました。

本 Version から当該シチュエーションでは「接続済み」又は「鍵更新中」と表示されます。

【OSS アップデート】

・OpenSSH の Version を「10.2p1」へ更新

・jq の Version を「1.8.1」へ更新

・lighttpd の Version を「1.4.82」へ更新

2025/10/17 v2.1.1.0

【不具合対応】

・[WEB/CLI] ユーザー名を変更した状態(admin 以外) で FW アップデートを行うと、アップデート後パスワードの変更ができなくなる問題を修正

※ v2.0.0.17 以降のバージョンにて FW アップデートを行う際に発生する可能性がある問題です。

発生条件：

v2.0.0.17 以降の FW でユーザー名を「admin」以外に設定した状態で FW アップデートを行う

発生する事象：

- ① パスワードの変更ができなくなる

事象発生後以下の操作をすると別の問題が発生します。

- ・ユーザー名変更：CLI にログインできなくなる
- ・工場出荷状態に戻す：WEB 設定ツール/CLI が使用できなくなる。

【注意事項】

本ファームウェアでは、ユーザー名を「admin」以外に設定した状態で、ファームウェアアップデートを行った場合に発生する問題が修正されています。

以下に該当される方は、操作・アップデートについての留意点をご確認ください。

対象：ユーザー名を「admin」以外に設定した状態で、v2.0.1.0、v2.1.0.13 へアップデートされている方

留意点：本バージョンにアップデートする前に以下の何れかの操作を行わない。

<工場出荷状態に戻す操作>

- ・WEB 設定ツール：「システム」⇒「設定」⇒「設定初期化」
- ・CLI：clear config
- ・本体：本体の SW 長押し

2025/8/25 v2.1.0.13

【機能追加】

- ・[IPsec] 接続先ネットワークに 0.0.0.0/0 を設定できるよう機能を追加
- ・[Routing] IPsec 機能使用時に使用される IPsec ルートテーブルを対象としたルートの追加ができるよう追加
- ・[SMS] SMS の送受信機能を追加

【機能改善/変更】

- ・[WEB] IPsec 接続設定で、暗号化アルゴリズム・ハッシュアルゴリズム・PFS(DH)グループについてそれぞれ各 1 つ以上チェックを入れないと設定保存ができないよう変更

【不具合対応】

- ・[CLI] ログイン時に出力されるユーザーログのタグが WEB になっている誤記を修正
- ・[CLI] ?によるヘルプ表示において、誤記、一部の候補の説明が出てこない問題を修正
- ・[Trigger] 機能を有効に設定した状態から、無効に変更をしてもアクションが実行されるケースがある問題を修正

- ・[WEB] IP フィルターの設定を CLI から行った後、WEB 設定ツールで IP フィルター設定画面の読み込み中の表示が続く問題を修正
- ・[WEB/CLI] SNAT 機能で期待通りに動作しない設定を設定できる問題を修正
- ・[LED] シャットダウン時に低確率で、POWER LED のみ点灯にならないケースがある (ANT,SYSTEM LED が点灯したままになる)問題を緩和

2025/6/16 v2.0.1.0

【不具合対応】

- ・[IPsec] SIM 切り替え後及び再認証後に IPsec 接続済みでも IPsec トンネルを通した通信が出来なくなってしまう問題を修正

【注意事項・制限事項】

上記不具合は、v2.0.0.17 でのみ発生します。このパッチは IPsec 機能を使用している方向けのパッチです。再認証は IKE ライフタイム満了前に実施されます。IKEv1,v2 関わらず発生する不具合となり発生時は接続済みにも関わらず、IPsec トンネルを通した通信が出来なくなります。

2025/5/9 v2.0.0.17

【注意事項・制限事項】

- ・工場出荷状態でログイン可能なユーザー名を admin に限定(root 廃止)しました。
- ・初期パスワードを使用している状態で、v2.0.0.17 へアップデートを行った場合、起動時に工場出荷状態に初期化されます。
- ・初期パスワードが使用されている設定情報ファイルは読み込めなくなります。
- ・初回ログイン時、パスワードの設定が必須となります。

【機能追加】

- ・[WEB/CLI] 設定の適用ボタン・コマンドを追加
- ・[WEB/CLI] SIM 切り替えボタン・コマンドを追加
- ・[IPsec] IKEv2 接続時に切断検知時間を設定できるように機能追加
- ・[IPsec] 接続先/自装置ネットワークに複数のネットワークを設定できるように機能追加
- ・[IPsec] Android 端末からの IPsec IKEv2 PSK 接続が行えるように機能追加
- ・[LAN インターフェース] MAC アドレスを固定に設定できるよう変更
- ・[LAN インターフェース] ProxyARP 機能の有効・無効を設定できるよう変更

- ・[LTECommunication] 通信が一定時間継続して行えない状態になった際に再起動する機能を追加
- ・[LTECommunication] SIM が認識できなかった場合に再起動する機能を追加
- ・[WEB] アカウントロック機能を追加
- ・[CLI] 認証に失敗したホストについて一定時間ログイン不可のペナルティを課す機能を追加
- ・[WEB/CLI] ログイン時に使用するユーザー名を変更できるよう変更ボタン・コマンドを追加

【機能改善 / 変更】

- ・[ModuleInfo] 1 つの SIM に複数の SIM 情報(ICCID 等)を持つタイプの SIM で情報が変化した際に[WEB/CLI]上の情報が追従できるように改善
 - ・[SunDMS] ユーザーログ出力時のログ内容を整理・変更
 - ・[L2TP/IPsec] Windows クライアントと接続した際に 7 時間 36 分で切断される事がある挙動を改善
 - ・[WEB/CLI] 工場出荷状態時にログインできるユーザー名を「admin」に限定(「root」ではログインができないよう変更)
 - ・[WEB] ログイン成功時にクライアントに渡すトークンの形式を変更
 - ・[WEB/CLI] 初期パスワードでのログイン時にパスワードの変更を強制するよう処理を変更
 - ・[WEB/CLI/SunDMS] 設定情報読み込み時に初期パスワードを含む設定情報ファイルの読み込みに失敗するよう処理を変更
 - ・[SYSTEM] 内部で保存している設定情報ファイルについて暗号化して保存するよう処理を変更
 - ・[SYSTEM] 起動時に初期パスワードを含む設定情報ファイルを読み込んだ場合、動作に適用せず工場出荷状態の設定で動作するよう処理を変更
 - ・[CLI] 使用可能文字について変更(一部の記号を使用できないよう変更)
 - ・[WEB/CLI] ログイン時にログイン元の情報を詳細にシステムログ・ユーザーログに出力するよう変更
- 不具合対応
- ・[IPsec] サイズの大きなパケットを送受信した際にパケットがエラーとなり届かない問題を修正
 - ・[IPsec] ネットワークアドレスのプレフィックスに 32 を指定した場合に内部エラーとなる問題を修正
 - ・[IPsec] CLI から IPsec 接続設定を行った際に機能が動作しない問題を修正
 - ・[NAT] CLI から設定を行った際に機能が正しく動作しない問題を修正
 - ・[WEB] CLI から NAT 設定を行い保存後、WEB 設定ツールから NAT ページを開くと設定の読み込みが終わらない問題を修正

・[WEB] 設定情報ファイルの取得⇒復元を繰り返すと復元した回数だけ設定情報ファイルの文末に改行コードが挿入される問題を修正

【脆弱性対応】

・[IPsec/L2TP/IPsec] Strongswan の Version を 6.0.0 にアップデート「CVE-2023-41913」

・[WEB] HTTPS 通信時に使用できる SSL のプロトコルとして脆弱性を含む古いプロトコルを受け入れないように対応

【OSS アップデート】

・[CLI] OpenSSH の Version を 9.9p1 にアップデート又依存する SSL ライブラリを libressl-4.0.0 に変更

・[IPsec] Strongswan を 6.0.0 にアップデート

2024/7/31 v1.4.0.8

【機能追加】

■ SunDMS 後位端末死活監視機能追加

■ GNSS 機能追加

・[WEB/CLI] 機能設定ページ/コマンドを追加

・[WEB/CLI] 位置情報を表示するページ/コマンドを追加

■ トリガー機能追加

・IP アドレス変化イベントと特定サーバへの GET リクエストアクションに対応

■ PPTP サーバ機能追加

■ L2TP/IPsec サーバ機能追加

【機能改善 / 変更】

■ [CLI] 使用可能な文字について整理

・文字自体の設定が可能になるようエスケープ文字を定義(¥?)

・"で囲われた設定値について"自体が入力できるようエスケープ文字を定義(¥")

■ [SunDMS] ログ取得で取得したファイルにユーザーログファイルも含めるよう変更

■ [CLI] ?コマンドで表示される文言について 一部変更

■ [CLI] show edit-config, startup-config で空白文字を含む設定値を表示した際の囲い文字を"から"に変更

【不具合修正】

■ [CLI] スペース文字を含む設定値について"で囲っても設定できない問題を修正

【脆弱性対応】

■ [CLI] OpenSSH の脆弱性(CVE-2024-6387)に対応

※

Rooster SE の Version が 1.2.0.8 又は 1.3.0.5 で CLI 機能が有効に設定されている場合、脆弱性を用いた攻撃を受ける可能性が有ります。対象のお客様は可能な限り Version1.4.0.8 へのアップデートをお願いいたします。

Version1.4.0.8 にアップデートできない場合は以下のいずれかの対応で外部から CLI(SSH)へ攻撃を受けないよう対応をお願いいたします。

①CLI 機能を無効に設定する

②外部から SSH の待ち受けポートへのアクセスを遮断、制限する設定を追加する。

(デフォルト設定時は LAN 側からの SSH アクセスは許可、モバイルネットワーク側からのアクセスは遮断となっています)

2024/4/30 v1.3.0.5

【機能追加】

■ SunDMSWAN ハートビート機能追加

■ 日本語ログ出力機能追加

・Web 設定ツールに日本語ログの表示／ダウンロードする為のページを追加

・CLI に日本語ログの表示／ダウンロードするためのコマンド(show log user, upload log FILENAME user)を追加

【機能改善 / 変更】

■ Web 設定ツールのユーザービリティ向上

・設定の再読み込みボタンを追加

- ・工場出荷状態に戻した場合や、設定情報ファイルから設定を復元した時に設定を再読み込みし UI に反映するよう変更

- ・設定を編集した場合に変更があった旨がわかるアイコンを画面右上に追加
- ・パスワード変更した際にログアウトするよう変更
- ・再起動／シャットダウンボタンを押した時に確認のダイアログが表示されるよう変更
- ・再起動／FW アップデート時に一定時間後にブラウザを自動リロードするよう変更
- ・アクセス時に読み込まれるアイコンのサイズを削減
- ・アクセス時に読み込まれるリソースをブラウザの Gzip 圧縮で圧縮されるよう変更
- ・Web 設定ツールのリソース読み込み中にスプラッシュ画面が表示されるよう変更
- ・未設定時に初期値で動作する項目についてプレースホルダーを表示するよう変更

■ CLI のユーザービリティ向上

- ・タブ補完／?キーでのヘルプ表示の対応
- ・[Web 設定ツール/CLI] ルート情報表示にて、設定した静的ルート、IPsec 機能が自動生成するブラックホールルート、相手ネットワーク宛の経路情報も表示されるよう調整
- ・CLI に使用している SIM ソケットの情報を表示するコマンド(show status sim)を追加
不具合の修正
- ・[Web 設定ツール/CLI] IPsec 情報表示で id 不一致等で接続が完了出来ない状態でも「接続済み」と判定してしまう問題を修正
- ・[Web 設定ツール/CLI] IP フィルター、NAT、DHCP 機能の設定で設定項目の依存関係で期待通り動作しない組合せの設定が設定できてしまう問題を修正
- ・[IPsec] sha384,sha512 を使用しての IPsec 接続が出来ない問題を修正
- ・[CLI] show mobile, show mobile telno コマンドで電話番号が取得できない不具合を修正
- ・[CLI] v1.1.0.5 からアップデートした端末で ping,traceroute,nslookup,noset コマンドが動作しない問題を修正

2024/2/7 v1.2.0.8

【機能追加】

- ・CLI(SSh Server)設定機能追加
- ・さくらセキュアモバイルコネクタ対応（接続するキャリア固定）
- ・DNS フィルタリング機能対応
- ・ETH の Speed・Duplex 固定設定対応
- ・モバイルインタフェースのネットマスクを設定可能にする対応
- ・Web 設定ツール ポート・プロトコルを設定可能にする対応

【機能改善 / 変更】

- 【LTE】3G 停波に伴い UE's usage setting が data centric になるよう変更

【Antenna】UI から main,div それぞれ個別に設定可能に変更

2023/10/31 v1.1.0.5

【機能追加】

- 1) IPsec 対応
- 2) WAN ハートビート機能拡張
 - ・sleep アクション追加
 - ・複数のアクションを設定可能
 - ・SIM 切り替えアクションに切り戻し機能追加

【機能改善】

- ・【Web 設定ツール】不正な設定情報ファイルをインポートできないよう修正
- ・【Web 設定ツール】モバイルインタフェースの情報表示ページを調整
- ・【LAN】10BASE-T 接続で LED が点灯しない問題を修正
- ・【LAN】LAN インタフェースを経由する通信が安定するよう調整
- ・【LTE】ネットワークのステータスが変化した際にシステムログにログを出力するよう修正
- ・【SIM 切り替え】一部の SIM に切り替えると切り替え先の SIM で期待通り接続できない問題を修正

2023/08/22 v1.0.1.2

- ・海外ローミング SIM 使用時に SunDMS に接続できない事がある問題を修正
- ・定期再起動機能にて再起動に失敗し、パワーオフ状態が次の再起動時刻まで継続してしまう事がある問題を修正